

2015年12月22日

第205回 日本経営倫理学会・理念哲学研究部会例会の議事録部会長

村山元理

第205回 例会 12月21日(月)18:00-20:00 学士会館 308室

参加者 宇佐神、佐藤、山本、古山、長塚、辻井、増澤、新川、望月、井上、村山の11名

欠席届:竹内・緒賀・遠藤 未連絡:佐藤・西藤

議題(60分)

0-1. 『21世紀の経営倫理』エントリー、分担案

・村山の示した目次案に沿って、修正意見が寄せられ、大よその概要、方向性、分担素案に関して了承が得られ、2年以内にテキスト作成に向けて、目標設定することが合意された。日本のビジネスパーソンのライフヒストリーを問題意識として、日本的なビジネスの有り方とは何か、あるべき倫理観とは何かを倫理学、経営学、その他諸学から多元的に理解する。

0-2. 増澤洋一さん(秀明大学教授)が初めて参加され、自己紹介。

・T社に20年、秀明大学で12年。N社長より社員教育の方法論を学ぶため、アメリカへ留学。プラグマティズムに基づく教育哲学を学ぶ。大学における倫理教育が高等学校と分断されている。教育基本法の改正、大学入試改革は「よく生きる人間」が目指され、石門心学(商人道)がかつて否定されたが、今回それが復権している。秀明大学では教育全体を倫理化している。配布物2点:上野戊琉「教養教育を活用した経営倫理学修」『秀明大学紀要』第13号(2016), 増澤・上野「大学における新しい時代の経営教育の在り方2-実践経営学による教養・専門・社会教育の架橋-」(日本マネジメント学会関東部会、2015年12月19日報告)レジュメ

1. 研究発表(30分+議論30分) 村山元理 「高橋義雄と『水戸學』-三井の経営者から数寄者へ」(『常磐大学国際学部紀要』20号掲載予定、添付)に基づき発表。高橋の『水戸學』は光圀の伝記が中心であり、それは慶喜の大政奉還によって完結したといっても可なりという考えがあった。文人経営者の再評価をなした。

・明治維新の再評価につながる議論である。勝海舟は大変な人物であり、明治政府に有能な旧幕臣を送りこんだ。

2. 佐藤氏資料提供:今年の一宇「安」『朝日新聞』の記事、ここ10年の毎年の「今年の一宇」一覧。…そこから何が学べるか?

今後の日程

第206回例会 1月18日(月) 18:00-19:00 305室 (いつもと違う)

金子倫理学について 宇佐神正明

新年会 19:00~20:30 サイゼリヤ ?

第207回例会 2月15日(月) 18:00-20:00 308室 確定

第208回例会 3月21日(月, 振替休日) 18:00-20:00